

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2023年 12月 15日

事業所名：みらい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保している。	概ね良い。	引き続き適切なスペースと活動内容を考慮する。
	2 職員の適切な配置	安全かつ効果的に支援提供が出来るように配置に考慮している。	概ね良い。	引き続き適切な職員配置を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	目的に応じた場の設定を行っている。児童に応じた構造化を行っている。	概ね良い。	引き続き子供の状態に合わせた配慮を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々清掃、整頓を行っている。個別のスペースを確保できるよう配慮している。	概ね良い。	清掃、整頓を心がける。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日支援開始前にミーティングを行い、送迎やプログラムの分担等の確認をしている。		簡潔かつ適切な情報共有を心がけ、話し合いの業務改善への効果を高める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	苦情解決においての第三者委員を設置している。		他事業所の事例等も検討の材料とする。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時・更新時の研修に加え、積極的な内部研修や外部研修の案内を行っている。		引き続き職員の研修、スキルアップの機会を設けていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子供の特性や状況を観察し、各自の課題や保護者の意向に基づいた計画を作成している。	概ね良い。	日々の変化を適切に記録し、保護者同意のもと計画の作成を進める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	曜日ごとの集団プログラムを行いながら、個別の課題や目標、嗜好等を考慮した個別活動を実施している。		個別の課題や興味・関心を引き出していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別の課題に応じた具体的な支援内容を設定している。		日々の様子を組み込んだ具体的な支援内容を保護者と相談の上計画に記載する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	放課後等デイサービス計画を基にプログラムの計画立案、実施を行っている。	概ね良い。	引き続き適切な支援を実施できるよう、職員間の情報共有を進める。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフの特技を生かしたプログラムを実施している。課題の共有の会議を設けている。		引き続き職員全員が活動プログラム立案に関わる環境を整える。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日に外出やを行っている。代休日等に職員を増員し、午前からの受け入れもを行っている。	概ね良い。 活動プログラムの固定化に対し「曜日固定で参加できない。ばらばらだいいと思うことがある」	保護者や学校との連携を密にし、各自の予定に考慮した支援を行う。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同法人の他事業所とのミーティングでの意見を参考にしている。曜日ごとのプログラムは、他の曜日でも体験できるよう用意している。		他の曜日でもプログラムに参加できる・していることを連絡帳やおたより等で発信していく。個別の関心に沿った支援内容を充実させ、これも報告を心掛けていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日支援開始前にミーティングを行い、送迎やプログラムの分担等の確認をしている。		簡潔かつ適切な情報共有を心がけ、支援を充実させる。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	活動の様子とヒヤリハットの共有を行っている。当日時間が取れない場合は翌日行っている。		業務日報やサービス記録の控えを活用し、全職員での共有を徹底する。
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日次記録は全職員の協力業務として行い、また保護者への連絡帳の返信は職員全員が目を通すようにしている。		引き続き日々の記録を徹底し、業務改善に繋げる。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	法令に従い、モニタリング及び計画の見直しを実施している。		保護者との面談および説明を十分に行う。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	参加の実績はある。		提案を行い参加の機会を増やす。
	2 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	非対象		対象時の利用を考慮し、研修等への参加を促す。
	3 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	非対象		対象時の利用を考慮し、研修等への参加を促す。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	行っているが十分と言えない。		送迎時の学校との引継ぎ、支援内容の共有を続けていく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	行っているが十分と言えない。		卒業前後の保護者・本人への支援を検討する。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修への参加を職員に促している。		今後も研修参加の案内を続ける。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	外遊び等での交流の機会がある。	概ね良い、わからない。不十分というお声もある。	児童館等の児童とは学年が異なり積極的な交流は想定していないが、今後も外遊び・地域の行事等での交流を図る。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域美化活動を行っている。地域に向けた事業所の見学会に参加している。	概ね良い。	今後も行事を地域へ発信していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明を行い、自費負担については都度連絡している。	連絡帳、電話、面談、送迎時などでの情報共有や相談を行っている。	計画の更新時や面談の際に改めて説明を行っている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	行っている。	概ね良い。	面談の十分な時間の確保に努める。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	コロナ禍で中止となっていた、保護者会、茶話会を再開する予定。	良い、不十分どちらのご意見もある。	職員の研修参加を促し、保護者が支援の実感を得られるよう努める。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳、電話、面談での情報共有や相談を行っている。	概ね良い。	引き続き丁寧な記録・情報共有に努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	子供の状況や課題等を考慮し、適切な対応を心がけている。	「計画立て直しの際に十分な面談の時間を設けてほしい。」	計画更新の面談を充実させるとともに、日頃から子供の状況や支援の方法について共通理解を図る。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	感染予防の為、保護者会などは行っていないが、再開していく。	不十分。	感染状況を観ながら、保護者会を再開していきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理者、職員が迅速に対応するよう努めている。	概ね良い。	適切な対応を行い、再発防止に努める。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	様々なツールや手段を用い、検討している。共有できるコミュニケーション手段の獲得に努めている。	概ね良い、わからない。	より適した手段を用いるよう検討を続ける。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のおたよりで活動の様子や行事予定をお知らせしている。	概ね良い。	今後もお便り、必要時の連絡を続ける。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	文書は鍵付き書庫で保管している。子供の情報等口外することのないよう、職員研修等を実施し徹底している。	概ね良い。	引き続き適切な取り扱いを行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、適宜研修等で確認している。	概ね良い、。	避難訓練や感染症の流行等の時期に合わせて、事業所の対応や予防等を周知する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	子供も含めた避難訓練を年2期、複数回実施している。	概ね良い。	より安全な避難誘導を目指す。定期的な避難訓練を実施する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年2回の研修を実施している。虐待につながるおそれのある関わりについても、随時職員に対し啓発を行っている。		虐待防止委員会に参加し、日ごろから防止に努める。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	対象児童に関して、やむを得ず実施する場合の留意点などを支援計画に記載し、保護者の了承を得ている。		やむを得ず身体拘束を行う場合の留意事項を職員が共通理解する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	原則、アレルギーを事業所に置かないことを取り決めている。必要時、医師の指示書に基づき対応をしている。		適切な対応ができるよう職員の研修を実施する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例を様式を用いて作成し、同法人内の事業所間でも共有している。		引き続きヒヤリハット事例の共有を行い、再発や重大事例の予防に努める。